

三栄です

「こんにちは いつもお世話になっております」

台風や北海道の地震などで被害に遭われた皆様にご心よりお見舞い申し上げます



今年の九月は北海道で大きな地震があったり、関東にも二一号、二四号と勢力の強い台風が上陸したりと大きな災害が続きました。台風二四号では、私も夜中まで消防団として警戒に当たっておりましたが、桜並木で倒木が相次ぎ、駐車中の車両が下敷きになるなど市内でも大きな被害が出ておりました。当社も業務に支障をきたすほどではありませんでしたが、ヤードのテント屋根が一部剥が

れたり、雨どいが外れたりする被害がありました。

また、北海道には家内の実家や親戚、業界の間も多く、心配しておりましたが、家財道具が倒れたりする被害はあったもののみな無事ということとで安心しました。ただ、ニュース等でも皆様ご存知と思いますが、停電の影響が大きかったようでしたので、当社も改めて発電機の点検、トラックや営業車両全車へのUSBソケットの取付、燃料を常に三分の二以上キープするなど社内の取り決めにしました。また、札幌の組合の東理事長の会社に向った際に小型のソーラーパネルのおかげで電話など最低限の電気が使えて助かったとお話を聞き、当社でも検討したいと思っています。

第53号

発行元

株式会社
三栄サービス
東村山市久米川町
1-16-5
発行人 紺野琢生



エコアクション21
IPSuS 0002394

昨年来の古紙輸出相場と古布の今後の動向について。

古紙相場は、春先には大暴落、大余剰で本来に困っていたのですが、米中の貿易摩擦や品質の問題で日本の古紙の引き合いが強くなり、古紙の輸出価格が上がっております。ただ、これは一時的なもの、中国における一月の「独身の日」のセールに向けた需要増やライセンスを年内に消化するため、年末にかけて暴落するのではと予想されています。米国の中間選挙の結果を受けてまた動きがあるともいわれており、先行きは不透明ですが、二〇二〇年には中国は海外の古紙を輸入しないと断言しておりますので、当社としては国内製紙メーカーへの安定供給を引き続き堅持したい

と考えております。

また、古紙の持ち去り業者がまた暗躍しているとの情報が増えてきました。皆様の財産である貴重な資源を守るために、当社も組合を通じて行政と連携したパトロールやGPS追跡調査を行っております。なお、不審な車両を見かけた際には、車種、色、ナンバーなど情報提供にご協力下さい。次に、古布の動向ですが、インドネシアの輸入禁止による大暴落以来、低位安定で推移してきました。ここに来て、日本から輸出される古布の半分を受け入れているマレーシアで六月に廃止された消費税の代わりに九月から導入された売上・サービスタックスにより、課税が強化されました。課税対象となる古布の評価額もあまりいまいで税率以上に仕入れ価格を下げないと対応できないとのことでした。古布も先行きはあまり明るくないようです。

中学生の職場体験学習の受け入れと総合震災訓練への避難所段ボールの提供

去る九月一三、四日、東村山市立第二中学校の職場体験学習を受け入れました。回収作業や構名刺交換や紙すき体験もしてもらいました。



パッカー車での段ボール回収。手を挟まないように気を付けてね！

去る一〇月一四日に東村山市総合震災訓練が開催されました。体育館で開催された避難所の体験ブースに当社の段ボールを提供させて頂きました。



間仕切りや段ボールの活用など、様々な使い方を展示